



平成 21 年 11 月 6 日

各 位

会社名 株式会社富士テクノソリューションズ
代表者名 代表取締役社長 高井 男
(登録銘柄・コード 2336)
問合せ先
責任者役職名 経営管理部 部長 岩澤 隆則
電話 (045) 470-0035

特別損失の発生および中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 3 月期第 2 四半期（平成 21 年 7 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで）決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 21 年 5 月 20 日に公表した中間業績予想を下記のとおり修正しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

特別退職金	10,029 千円
事務所移転費用	3,951 千円

2. 中間業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：千円)

	売 上 高	経常利益又は 経常損失 (△)	当期純利益又は 当期純損失 (△)
前回予想 (A)	700,000	△14,500	△15,000
今回修正 (B)	643,033	13,219	△28,548
増減額 (B - A)	△56,967	27,719	△13,548
増減率 (%)	△8.1	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	1,441,261	5,212	1,114

(2) 修正の理由

第2四半期の業績につきましては、昨年来の景気後退の影響を受け、当社の主要顧客であるメーカーにおいては、積極的な製品開発など行うまでには至っておらず、当初第2四半期よりの受注回復を見込んでおりましたが厳しい状況となりました。このような状況の中で、技術者の稼働率は当初予想よりも低い水準で推移していることから、売上高は当初予想を下回り、643,033千円となりました。

経常利益におきましては、経営抜本対策によるコスト削減に努めた結果、前回予想の経常損失14,500千円に対し経常利益13,219千円となりました。

当期純利益におきましては、上記特別損失を計上したことにより当期純損失28,548千円となりました。

3. 通期業績見通しについて

平成22年3月期通期の業績予想のつきましては、判明次第公表する予定であります。

以上